

公立保育園給食食材の放射性物質検査について

【公立保育園給食食材の放射性物質検査の終了について】

公立保育園給食で使用している食材は市場に流通している安全な食材です。平成24年1月から10年間、野菜や果物の放射性物質検査を実施してまいりましたが、検出限界値を超えることはなかったため、令和4年3月をもちまして検査を終了いたします。

今後も引き続き、安全・安心な食材を使用し、給食の提供をしていきますので、皆様のご理解をお願いいたします。

なお、これまでの検査結果につきましては、引き続きホームページに掲載しています。

【公立保育園給食食材の放射性物質検査結果について】

検査結果(検査日:令和4年3月22日、使用日:令和4年3月23日)

検査品目	食材産地	検査対象施設	検査結果(ベクレル/kg)			
			放射性ヨウ素 131	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム (134と137の合計 値)
キャベツ	愛知県産	木刈、内野、 高花	検出せず (4.95 未満)	検出せず (6.38 未満)	検出せず (7.97 未満)	検出せず
きゅうり	千葉県産	木刈、内野、 高花	検出せず (4.89 未満)	検出せず (6.44 未満)	検出せず (7.54 未満)	検出せず
大根	千葉県産	木刈、内野、 高花	検出せず (4.59 未満)	検出せず (6.04 未満)	検出せず (7.17 未満)	検出せず
にら	千葉県産	木刈、内野、 高花	検出せず (4.88 未満)	検出せず (8.65 未満)	検出せず (7.88 未満)	検出せず

※「検出せず」とは検出限界値未満であることを示します。括弧内の数字は検出限界値です。なお、検出限界値はサンプルの種類等によって異なります。

○食品衛生法に基づく飲食物に関する暫定規制値(単位:ベクレル/kg)

飲食物	放射性セシウム
牛乳・乳製品	50
野菜類・穀類・肉・ 魚・卵・その他	100

注)ベクレル:放射能の強さを表す単位で、単位時間(1秒間)内に原子核が崩壊する数を表します。

検査機器

NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメーター
(ベルトールドテクノロジー社(ドイツ国)製

ガンマ線スペクトロメーターLB2045)



測定条件

●測定容器:マリネリ容器(420ml)

●測定時間:900秒

検査方法

厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」、文部科学省「NaI(Tl)機器分析法」、科学技術庁測定法シリーズ24「緊急時におけるガンマ線スペクトロメータのための試料前処理法」に準じています。

【問い合わせ先】

印西市健康子ども部保育課保育係

TEL 0476(33)4651